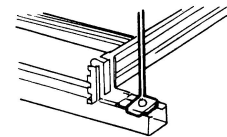
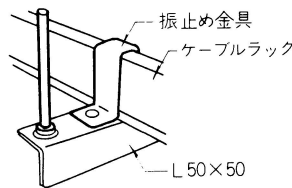
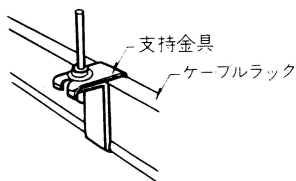


天井吊ケーブルラックの施工



ラック本体直接支持（一般型）

山形鋼による支持（重量型）

ダクタによる支持（重量型）

施工上の留意点

1. ケーブルラックの支持間隔は鉄製ケーブルラックでは2.0m以下、アルミ製ケーブルラックでは1.5m以下とする。
2. ラックの径を考慮する。
3. ケーブルラックのケーブルが移動しない程度に結束する。
4. ケーブルラックの終端部、自在継手部およびエキスパンション部にはボンディングを行なう。